

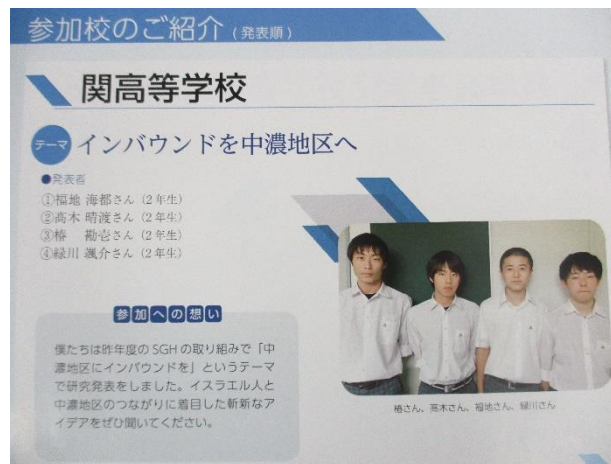


今回は、8 月の終わりに開催された『英語で想いを語る会』について報告します。

◇『英語で想いを語る会』 2018年8月26日(日)10:00-14:40

今年で開催 3 年目を迎える『英語で想いを語る会』は、昨年と同様に大垣市にあるイビデン株式会社の本社で行われました。このイベントは、岐阜県日米協会と在名古屋米国領事館の主催のもと、県下の 10 校の高校生が、自分たちで選んだテーマについて各チーム 8 分ほどのプレゼンテーションを行うものです。本年度は、関高校の 2 年生の生徒 4 名が参加をしました。

選んだトピックは、昨年度 1 年時に SGH のテーマとして取り組んだ、『インバウンドを中濃地区へ』という内容で行いました。昨年度 1 年 6 組の生徒がクラス代表として、全校発表をした時のプレゼン（日本語）を元に、それを英語プレゼンとして発表しました。11 月には地区のプレゼン大会が予定されています。その大会に向けての前哨戦という事で、今回の経験は、他校の生徒さんから多くを学び、成果と課題について目を向けることのできた実りあるものとなりました。



(生徒の感想)

- 今回のプレゼンテーションで、英語で想いを伝えることの難しさを実感しました。また、11 月にもプレゼンの機会があるので、次回までには英語をもっと上達させて、自信をもってやりたいです。
- 英語の発表は初めてで、とても緊張しましたが、詰まらずに伝えることができました。他校の発表は素晴らしく、11 月には、もっといいプレゼンにしていきたいと心から思いました。
- I thought it was very difficult for me to communicate in English. 自分達のプレゼンテーションにパフォーマンスを加え、より面白くしたいと思いました。英語力・リスニング力そしてパフォーマンス力のつく大変良い機会となりました。
- 他校のプレゼンテーションのレベルがすごく高くて、見ていて楽しかったです。英語がペラペラの人もいて、かっこよかったです。11 月のプレゼン大会では、もっとパフォーマンスという点で、工夫をして観客の心をつかみたいです。